

幼 兒 の 教 育

昭 和 十 年 四 月

進歩するものゝ

進歩しないもの

進歩するものゝ、進歩しないもの。これは大きな二つの分類である。自然界でも、人間界でも。

去年植ゑた木が、こんなに伸びてゐる。草が一日々々に生長する。その傍に石があり、杭がある。若木を支へるに用ゐられた杭が、今はもう若木よりも低くなつてゐる。石が茂る草に覆はれて仕舞つたりする。そんなこゝさへ珍らしくない、大きな二つの分類である。

春は、自然の中で進歩するものゝ目立つ時である。其の裏に、進歩しないものも目立つ時である。

三月、子ぎも達を送り出す時、その生長も進歩に今更に驚かされた我等は、そして又、四月、新しい子ぎも達を迎へて、その進歩も生長の潑刺たる期待に充たされる我等は、その後でいつも自分を思はずにゐられない。子ぎもに比較してゝはない。昨日の自分に比較してゝある。

進歩する幼稚園も進歩しない幼稚園。進歩する保母も進歩しない保母。これは最も大きな二つの分類である。しかも、屢々、自ら平氣でゐる差別である。

(倉橋惣三)